

## 補装具支給に関するデータベースプログラム最終版の確認と配布システムの構築

研究分担者 筒井澄栄 創価大学

文学部 教授

研究分担者 山田英樹 国立障害者リハビリテーションセンター研究所

障害福祉研究部 部長

### 研究要旨

データベースシステムを伴う補装具支給申請の手続きや補装具の適合・判定に関する情報の共有化や業務支援を実施することにより、更生相談所、自治体における業務の質の向上を目的とした支援の仕組みの構築や補装具支給制度の申請手続きや補装具の適合・判定における実用化に向けた課題抽出の仕組みの構築に取り組み、さらに補装具支給申請手続きや補装具の適合・判定に係る情報を収集・蓄積・共有し、業務を支援するデータベースシステムである「補装具費支給情報システムプログラム」最終版の作成を目的に、更生相談所の担当者の方々に本システムに対する意見聴取を行い、本システムによる申請書類等の書式の統一とデータベースシステム運用に生かすためにアンケート調査を行った。

調査の結果、データベースシステムについては、おおむね良好な回答が得られたものの、他機関とのデータ共有及び活用の際に躊躇する意見が見受けられることが明らかとなった。

また、データベースの活用を促進するためのプログラム配布サイトを開設した。

### A. 研究目的

データベースシステムを伴う補装具支給申請の手続きや補装具の適合・判定に関する情報の共有化や業務支援を実施することによって、更生相談所、自治体における業務の質の向上を目的とした支援の仕組みの構築や補装具支給制度の申請手続きや補装具の適合・判定における実用化に向けた課題抽出の仕組みの構築に取り組み、さらに補装具支給申請手続きや補装具の適合・判定に係る情報を収集・蓄積・共有し、業務を支援するデータベースシステムとして、「支援機器の効果的活用や支援手法等に関する情報基盤整備」に係る補装具支給に関する基礎的データベース最終版の確認と配布システムの構築業務一式において、補装具費支給情報システムを作成してきた。

データベースの活用を促進するためにも、更生相談所の担当者に本システムに対しての意見をいただき、将来的に本システムによる書式の統一化とデー

タベースシステム運用に生かすためにアンケート調査を実施した。

### B. 研究方法

#### 1. 調査対象

昨年度の借受け制度導入後の状況についてのアンケート調査にご協力いただいている更生相談所の担当者を対象に、補装具費支給情報システムに関するアンケート調査を実施した。

#### 2. 調査方法及び調査時期

2020年1月～2月の期間に、各更生相談所がみずほ情報総研より送付したアンケート用紙に所定の項目を入力し、回答用紙を送付する方式で実施した。

#### 3. アンケート項目

アンケートの構成は、以下の4項目からなる。

1) 補装具費支給情報システムの情報入力について  
義手、義足、車椅子、電動車椅子、座位保持装置の各処方箋入力項目に対しての不足項目及び、レイアウトについてのご意見をいただいた。

2) 補装具種目名称コード選択について  
補装具費支給情報システムに取り入れた補装具種目名称コードを選択するという点についてのご意見をいただいた。

3) 蓄積したデータ操作について  
補装具費支給情報システムで蓄積したデータの検索、集計・比較、CSV形式でのやり取りについてのご意見をいただいた。

4) その他全般のご意見について  
補装具費支給情報システムを導入するに際しての問題点や、システムに関わらず全般的なご意見をいただいた。

### C. 研究結果

補装具費支給情報システムに関するアンケート調査について、回答結果は以下のとおりである。

1. 補装具費支給情報システムの情報入力について  
1) 入力項目について

各処方箋入力において、入力項目として不足しているものについて、回答結果を以下に示す。

#### 【評価】

- ・ 入力内容としてこれで不足しているものはない

#### 【不足項目】

- ・ 判定方法が不足
- ・ 判定及び適合判定の場所が不足
- ・ 義手、義足において、障害名、疾患名、障害発生日が不足
- ・ 義手では、支持部及び外装が不足
- ・ 義足では、Kレベルが不足
- ・ 義手と義足、座位保持装置については、借受けの判定結果、借受け開始・終了月、判定方法、耐用年数経過か否かが不足
- ・ 車椅子、電動車椅子については、判定方法、耐用年数経過か否かが不足

#### 【要望】

- ・ 車椅子処方箋等の装置系は、入力数値の単位がない
- ・ 病院などの施設で整理用などに使用できる入力項目(患者番号)のようなものが欲しい
- ・ 実務的には細かく指定しない項目(例:車椅子処方箋の「ハンドリム」)がありそうなので、簡易的に入力できる方法が欲しい
- ・ 修理の処方箋も記載できるようにして欲しい

#### 【その他】

- ・ 両手(両足)の場合はそれぞれ処方箋を入力することになるのではないかと
- ・ 径や太さ、材質まで入力することは少ないのではないかと
- ・ 完成用部品が選択できるとよい
- ・ 処方医師名は、処方するのは医師だけではないので処方した人の職種と氏名としてはどうか
- ・ 判定、仮合わせ、適合判定それぞれは複数回実施した場合も入力できるようにしてはどうか

2) レイアウトについて

各処方箋入力において、使い勝手としてのレイアウトについて、回答結果は以下のとおりである。

#### 【評価】

- ・ 入力レイアウトは概ねよい

#### 【要望】

- ・ 全項目を入力しなければならないように感じてしまうので負担感がある
- ・ 「画像」ボタンは患者の写真をアップロードするかのよう勘違いしてしまうので、「サンプル画像表示」等にして欲しい
- ・ 処方箋への記載の対象となる項目ではないものの、病院などの施設で整理用などに使用できる入力項目(患者番号)のようなものが欲しい
- ・ 車椅子処方箋等の装置系は、身体測定情報は下にあるより、上にある身長や体重のそばにあったほうがよい
- ・ 測定情報に身長や体重などの計測値の反映ボタンがあるとよい

- ・ 入力する際、画面の上から下に戻ることなく入力できるようにレイアウトされていると思うが、そのあたりを検討して欲しい
- ・ 義手及び義足は、名称や型式は完成部品の項目基準に合わせて欲しい
- ・ 詳細に書く必要があるものはそのようにして欲しい

#### 【その他】

- ・ 「用途」が常用と作業用まで見れば分かるが、「用途」だけだと何を入力するか人によって異なるものと考えようである
- ・ 調整部品は義足調整用部品と足調整用部品の区別をしたほうがよい
- ・ 付属品は特例補装具扱いではなく別の項目にして詳細に書けるようにしたほうがよい

### 3) その他

その他、回答結果は以下のとおりである。

- ・ 患者の住所は別のシステムで管理しているものを取り込みたいので、CSV等で取り込める機能が欲しい
- ・ 医療機関では意見書に処方箋を添付するので、それらをまとめて紙で出力し、役所に提出できるワークフローが実現できるシステムとすることが望ましい
- ・ 新規・再交付とは別に購入・修理の別を入力する項目が欲しい
- ・ 入力エラーを警告する機能があれば有用と考える
- ・ 身体障害者手帳の内容、等級、疾病名や、義肢の切断時期、切断原因、過去の支給履歴等があると望ましい
- ・ 画像は本人の画像を取り込めるとなるとよい
- ・ 完成用部品について、基準表の区分、名称、形式、使用部品がそれぞれ選択可能であれば入力の手間の軽減になる
- ・ 完成用部品の基準表が毎年更新されるが、それに追従できるとよい

### 2. 補装具種目名称コード選択について

#### 1) 補装具種目名称コード選択について

補装具種目名称コードを選択することについて、回答結果は以下のとおりである。

#### 【評価】

- ・ 選択することで入力は容易になると思う
- ・ 入力名称の統一化が図れる（現状は同じものでも人によって入力名称が違う場合がある）
- ・ このような内容で概ねよい
- ・ 厚生労働省の補装具種目名称コードに一致しているのであれば、業務負荷が軽減される
- ・ 補装具種目名称コードを選択することで該当項目が入力されるのであれば有用（きちんと機能するのであれば）

#### 【要望】

- ・ どの処方箋でも同じ一覧が表示されるので、選ぶために探さなければならないのが不便（処方箋ごとに必要な表示に絞れないか）
- ・ 逆に、コード値の内容を入力したら、補装具種目名称コードが入力されるようになるとよい
- ・ 入力の組み合わせが補装具種目名称コードにならない場合に警告が出て欲しい
- ・ 新しい補装具種目名称コードが付与された場合、速やかに反映できるのか
- ・ 構造－名称－種目等を入力したら補装具種目名称コードが入力されるようにして欲しい

### 3. 蓄積したデータ操作について

#### 1) データ検索について

蓄積したデータの検索操作について、回答結果を以下に示す。

#### 【評価】

- ・ 蓄積データとして確認できることは有用で、蓄積データの再利用は有効性が高いと思う
- ・ 従前の事例が検索できれば便利である
- ・ まずはこのような検索よいのではないかと

#### 【要望】

- ・ 検索において、自由記述内の文字列検索があるとよいのではないかと
- ・ 申請書氏名（漢字、フリガナ）、個人特定番号、生年月日での検索が欲しい

- ・ 障害名だけでなく、完成用部品や年齢などすべての項目で検索できるとよい
- ・ 検索結果画面ですべての帳票を表示できるようにしたほうがよい

## 2) データ集計・比較について

蓄積したデータの集計・比較操作について、回答結果は以下のとおりである。

### 【評価】

- ・ 集計することで、地域差があるのかどうかの実態把握になる

### 【要望】

- ・ 集計時に参照事例ごとといった切り口でできるか
- ・ 匿名化すれば、県・国等への報告に使えるのではないか
- ・ 特例補装具や完成用部品の支給例・支給状況といった集計が欲しい
- ・ 支給対象例の比較が欲しい
- ・ 引き渡し後の適合や使用状況が欲しい
- ・ 入力項目から集計項目を選択できるとよい
- ・ クロス集計ができるとよい

## 3) CSV でのデータのやり取りについて

蓄積したデータを CSV でやり取りするし取り込める操作について回答結果を以下に示す。

### 【評価】

- ・ 患者の転居等でもデータを送ることでのような処方箋が出されていたのかわかるので便利になるように思う
- ・ 地域差の解消に繋がる
- ・ 他自治体での処方事例が入手できれば、既存事例としてその処方内容で進めることができる

### 【要望】

- ・ このシステム稼働前のデータもアップロードできないか
- ・ 集計・比較で選択したデータもそのまま CSV や PDF 出力できるとよい
- ・ クロス集計ができるとよい

## 4. その他全般のご意見について

### 1) 導入に際しての問題点について

補装具費支給情報システム導入に際して障壁となるようなものとして、回答結果は以下のとおりである。

- ・ 個人情報保護法がクリアすべき問題点となる
- ・ 自治体によってはダウンロードしてインストールすることが許可されない可能性があるため、補装具費支給情報システムを DVD での配布等も選択できるとよい
- ・ 現状の補装具費支給情報システムと本システムとの二重入力となり、業務負担増加が懸念される
- ・ 情報を主管する部署に使用承認を得る等の情報セキュリティ対応が必要となる
- ・ 本システムのアップデートやメンテナンスに関するフォローアップ体制が不明
- ・ 既存システムと連携が取れないと情報入力の二重化となり、事務作業の負担増となる
- ・ 処方箋入力は医師が更生相談時に行うことが望ましいので、入力が分割されることへの対応ができるのか
- ・ 入力データの保存に対してのセキュリティ管理
- ・ システムの更新が適切に行われるのか
- ・ 市町村への本システムの周知（依頼書等があるので）
- ・ 独自システムを導入しており、入力情報が重複することで業務負担が増加する
- ・ 情報を入力する各個人端末に本システムをダウンロードすることは、セキュリティの観点から関係部署との調整が必要
- ・ 個人特定番号は取り扱いに配慮が必要になる

### 2) その他

その他全般的な回答結果は以下のとおりである。

- ・ 自治体の現場で前例を蓄積できることはメリットがあると考え
- ・ 本システムによって入力情報や書式等が統一されることは望ましい
- ・ 判定に対しての参考となる

- データ閲覧や検索が更生相談所ごとでなく、県や全国の単位で可能なのか、そうでないのかで変わる
- 判定書の作成も可能にならないか
- 重度障害者意思伝達装置、聴覚、視覚も可能になっていって欲しい
- データの共有化はシステムを導入するだけでは、個人情報保護の観点から難しいのではないか
- 個人のデータを外部に提供するには、本人の同意が必要になるが、現場での負担増にしかならない（一案として、専用端末を更生相談所に配布し、電磁的インフォームドコンセントを国リハが行う等で負担軽減になるのではないか）
- 医療機関への情報提供時等で、特定のデータだけ一時的にアクセス可能な「限定アクセス権」のようなものを付与できないか
- 処方箋に PDF 文書の取り込みができないか（情報提供文書等）

#### D. 考察

1) 補装具費支給情報システムの情報入力について  
 システムの入力項目については、これでほぼ網羅できているというご意見が複数あった。一方、更生相談所によってはいくつかの入力項目についての以下に示すような追加項目が挙げられた。

##### 追加要望項目例

判定方法	判定及び適合判定場所
障害名	疾患名
障害発生日	義手支持部
義手外装	義足 K レベル
借受けの判定結果	借受け開始・終了月
耐用年数経過	

これらは不足項目というわけではないが、このような項目も入力できるとよいのではというご意見も複数いただいた。

今後は、要望いただいた項目の扱いについて、更生相談所の事務に支障がない範囲との兼ね合いで検討をする必要がある。

本システムの入力レイアウトについては、アンケートの期間等限られた中でのものであったが、概ね評価はいただいた。

ただし、細かい部分でご指摘いただいた点を含め、実際にご使用いただいた結果のフィードバック等で、よりお使いいただくにあたって負担が少なくなるレイアウトの検討は引き続き必要である。

その他、更生相談所で導入されているシステムとの連携、ワークフローへのマッチング、身体障害者手帳情報の反映等のご意見もいただいた。

##### 2) 補装具種目名称コード選択について

補装具種目名称コードを選択することで、入力の手間を軽減できるとの想定に対し、概ね軽減や容易化に繋がるとのご意見をいただいた。

ただし、補装具種目名称コードを選択することと、従来通りの項目入力为一体化していることへのわかりにくさによるご指摘もあり、入力の比重をどちらに置くのか等今後検討する必要がある。

また、補装具種目名称コードの変更・追加等への対応についての懸念といったご意見もあった。

##### 3) 蓄積したデータ操作について

本システムで蓄積したデータを利用することについては、有効性が高いとのご意見をいただいた。

検索対象項目といったものが更生相談所によってまちまちなことが今回のアンケートから見えてきており、検索対象項目をどのようにするか（つまりどのような観点での検索が望まれているのか）を検討し、システムに反映する必要がある。

データ集計・比較についても同様に有用性のご意見をいただいた中で、各更生相談所のニーズの部分をより幅広く集約し、蓄積したデータが再利用される方向にシステムを改修する必要がある。

CSV でのやり取りについては、一定の有効性はご意見としていただいた。ただし、蓄積データの扱いについては後述する個人情報保護との観点からの検討結果も踏まえる必要がある。

本システム稼働前の各更生相談所の既存情報の取り込みについてもご意見をいただいた。

## E. 結論

システム構造や使用感については特に問題はなく、良好な意見を多くいただいたものの、導入に際しての障壁について更生相談所の担当の方から多くの意見をいただいております、この点についての議論の重要性が望まれている。

具体的には、個人情報保護法をクリアできるか。  
主管部署でのセキュリティに対応ができるか。

既存システムとの二重入力となることによる事務負担増加の懸念をクリアできるか。

システムのアップデートやメンテナンスに対する体制について。

システムによって入力情報や書式等の統一が図られ、判定等に公平性が出るのではといった期待のご意見もいただいた。

現在、障害者総合支援法における「障害支援区分」を行うための判定項目や利用サービスの情報収集・活用が検討されており、その一部として本システムが活用されれば幸いである。

## G. 研究発表

データベースプログラムのダウンロードサイト  
(<https://hosougu.info/user/>)にて公開。